

人 チーム 制度



“通勤時間なし” “家族でゆっくり食事” が可能に！
自宅が会社になる「在宅勤務制度」

(株) 建設環境研究所

今回紹介するのは、(株)建設環境研究所で導入されている「在宅勤務制度」です。1日あるいは一定期間、家で仕事をするというもので、通勤時間がないことからリフレッシュに使う社員もいるようです。

会社プロフィール

- 2010年 制度の検討開始
- 2012年 制度の試行
- 2013年 制度の本運用

“在宅勤務制度”の内容を簡単に教えて下さい。

自宅にしながら社内と近い環境で業務を行う制度です。目的は、【①育児や介護との両立支援】、【②通勤時間・疲労の軽減による家族との時間の創出、心の充実】、【③事業継続性の向上（災害発生時等）】です。

この制度を始めたきっかけは何ですか？

育児や介護等と仕事の両立支援は大きな目的のひとつですが、災害発生時等に無理に通勤することなく、自宅で自身と家族の安全を確保しながら最低限の事業継続が出来る体制をつくりたいと思いました。

この制度を始めるにあたって、問題などはありましたか？どのように解決したのですか？

1点目は、「制度対象者の範囲」です。育児のニーズ、あるいは災害発生時を考えると全社員を対象にする必要があると考えましたが、その際どのように時間を管理するかが問題でした。

2点目は、「制度に対する温度差」です。育児や介護に直面していない人たちがこの制度に興味がなく、また、入社している社員への負担が懸念され制度導入に後ろ向きになるという問題がありました。

3点目は、「セキュリティ」の問題です。

それらの問題を、どのように解決したのですか？

1点目については、一日のみなし時間を7.5時間として、その時間に相応な業務内容を申請時に上司と取り決めることで、残業なしを徹底させています。時間内に終わらなかった場合は、何か原因か、業務やり方を見直すきっかけになります。

2点目については、各部の部会に参加して、趣旨を説明しました。また、あたりまえにこの制度を利用できる環境をつくるためにも、定期的な呼びかけや、各部からの実施状況の報告により、促進の空気を絶やさないようにしています。

3点目については、書類やノートPCを持って打合せに行くことと何も変わらないので、機密事項に対する社員の認識を信頼する形でクリアしています。

現在、この制度はどのくらい活用されていますか？

制度導入からまもなく3年ですが、社員のうち、4人に3人は少なくとも一度は利用しています。月に必ず一回は利用するように運用している部署もあります。

制度利用者からはどのような声が聞かれますか？

「通勤の負担がない」「（電話対応がないため）集中できる」「家族が喜んでくれる」という声の反面、「プリントアウトできず、適さない仕事がある」「子供にじやまされる」という声もあります。

「家族が喜んでくれる」というのは、夕食の時間が決められるという奥様の喜びの声でした。ささいなことかもしれませんが、家族に喜んでもらえる会社の制度はなかなかありませんので、この制度をますます推奨したいと思いました。

今後の展望を教えてください。

月1回は利用することが当面の目標です。育児や介護との両立支援「働き続ける」ためのツールとしてもどんどん活用して欲しいです。

また、災害発生時に、家族のそばにしながら、最低限の事業継続ができる体制づくりを、引き続き目指したいと考えています。



生産監理部 後藤夏子さん